

藤沢市議会 6月定例会

一般質問がはじまります 本会議の傍聴にお出かけください

藤沢市議会6月定例会は、四常任委員会と補正予算の審議が終わり、今週から一般質問がはじまります。会期末は6月24日です。
今議会は24人が一般質問の通告をしています。日本共産党市議団は、味村耕太郎議員、山内幹郎議員、柳沢潤次議員の3人が質問します。

味村 耕太郎 議員

6月21日(火) 13:30頃から

1. 教育行政について (1) ICT教育の諸課題について
①GIGAスクール構想の経過と問題点について

山内 幹郎 議員

6月22日(水) 15:00頃から

- (1) 鵜沼海浜公園スケートパーク建設の見直しを求めることについて
- (2) 2019年度高齢者の保健福祉に関する調査報告の分析結果の修正を求めることについて

柳沢 潤次 議員

6月24日(金) 11:00頃から

- (1) 市民の暮らしを守る地方自治体の役割について
(市民アンケート調査の結果より)
- (2) ①ごみ袋を無料化することについて
②ごみの処理は焼却から減量・資源化への取り組みについて

「高齢者のお出かけサポート事業 創設の請願」は残念ながら否決！ —— 厚生環境常任委員会（土屋議員担当） ——

「高齢者のお出かけサポート事業創設についての請願」（石井宏典氏 他3269人）は6月10日、厚生環境常任委員会で審査され、共産1人、アクティブ藤沢1人が賛成しましたが他の6人が反対で残念ながら否決されました。

藤沢市の考え方は

「バス等の公共交通の無料パスは課題が多く難しい」「外出支援は重要な施策と考える」「次期高齢者保健福祉計画策定にむけてアンケート調査を実施し、外出支援について協議検討を継続する」「デマンド交通の無料パスも難しい」と現時点では否定的な考え方を示



しました。

委員会の審議では、3269人の署名が添えられていることもあり、市民の要望が高い問題だけに多くの委員が質疑・討論をしました。

高齢者の外出支援には理解を示す

討論では外出支援については理解を示しながらも、「無料パスの創設を」の請願項目に対して無料ではなく、「一部負担が妥当」との意見や「重要な請願と受け止める。しかし財源がかりすぎる」などの意見がありました。日本共産党の土屋俊則委員は「藤沢市と同規模の42市中23市が実施」「高齢者の外出支援は『交通権』であり、医療や介護予防になり、商業、観光にも影響し、総合的な効果をもたらす」と賛成討論を行いました。

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



柳沢 潤次



土屋 俊則



山内 幹郎



味村 耕太郎



法律・生活相談

毎月10日頃 午後1:30~
(日本共産党議員団控室にて)
ご希望の方はご連絡ください
(25) 1111 (内線) 5649

日本共産党 藤沢市議団 市議会報告

No.302

2022年6月13日(連絡先) Tel. (25) 1111 (内) 5649

(ホームページ) <http://fujisawagikai.sakura.ne.jp/fujisawa>
(E-mail) fujisawa.kyosan@gmail.com